

教学 IR を根拠とする教育改善の事例紹介(2025年)

IR 室

本学では、アセスメント・ポリシーに則り、IR 情報の結果を分析し、教育改善に資する取り組みを行ってきている。そして、授業評価アンケートの結果等をもとに、ティーチングポートフォリオ (TP) を作成し、自身の教育観を高め、一貫性のある教育活動を継続して展開している。

そして、TPは単なる記録にとどまらず、分析的視点を持ち、自身の教育実践の課題や改善点を見出すことが求められる。科目の順次性や関連性を考慮した分析を行うことで、教育活動の全体像を把握し、計画的な改善を図る必要があり、今回の各学科の報告にある留意事項や検討事項については、FD・SD 研修等でも共有し、教授法、指導法の改善を進める。

【TP 作成にあたっての留意事項(2025年度)】

*学生の学習成果の可視化と分析

学生の理解度や成績の分析を行い、指導内容や方法の改善に役立てる

*教育改善の PDCA サイクルの導入(教育改善の循環を促す体制づくり)

計画・実行・評価・改善のサイクルを効率的に回し、継続的な向上を図る

*分析の仕方

- ・評価の部分では、各科目の内容や学習目標がどのように次の科目へとつながっているかを意識しながら分析し、全体のカリキュラムの見直しや、学習ステップの最適化にもつなげていく
- ・学生の学びや成果に焦点を当てて、どのように指導を行い、どのような結果を得たのかを具体的に示していく